

学校法人 東北学院

平成16年度予算について

財務担当常任理事 関根 正行

資金収支計算書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

Table with 4 columns: 科目, 平成16年度当初予算, 平成15年度補正予算, 差異. Rows include 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure).

Table with 4 columns: 科目, 平成16年度当初予算, 平成15年度補正予算, 差異. Rows include 消費収入の部 (Consumption Income) and 消費支出の部 (Consumption Expenditure).

消費収支計算書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

Table with 4 columns: 科目, 平成16年度当初予算, 平成15年度補正予算, 差異. Rows include 消費収入の部 (Consumption Income) and 消費支出の部 (Consumption Expenditure).

Table with 4 columns: 科目, 平成16年度当初予算, 平成15年度補正予算, 差異. Rows include 消費収入の部 (Consumption Income) and 消費支出の部 (Consumption Expenditure).

学校法人東北学院の平成十六年度予算が、去る三月五日の評議員会および理事会でそれぞれ承認され、成立した。このところ経済回復の兆しが見え始めたものの、教育界においては受験生の減少、国立大学の独立行政法人化など、本学も激しい競争環境にさらされている。他方では、教育改革、公的補助制度の見直しの問題等があり、私学経営は厳しさを増している。このように時代にあっても、社会と時代の要請に応え、質の高い教育を行い、しかも長い将来を見据えながら、教育機関本来の機能を堅実に遂行していかなければならない。このような姿勢の下に、本年度も、①前年度当初予算比伸び率ゼロ、②予算の補正は原則として認めない、の二点を本年度の予算編成の基本方針とした。平成十六年度の主な事業としては、大学部門では、四月に開設の大学院法務研究科(ロースクール)の授業運営

を軌道に乗せる、同研究科に対する入学時特待生制度や給付奨学金制度を新設する、平成十七年度を目標とする教養学部改組(現在の一学科三専攻体制から三専攻を三学科に変更し、新たに地域構想学科を加えた四学科体制へ転換をはかるための条件整備を行う、土曜キャンパスに完成した法科大学院・総合研究棟に、これまで分散していた各研究所、資料室、事務室を移転し、効率的な利用に供する、学長提案に基づく諸改革や補助金制度の有効活用による教育活動の質的向上・充実をはかる、などであるが、これらがスムーズに実現されるよう予算措置を講じた。一方、将来を見据えた長期的な観点から、狭隘な土曜キャンパスを改善するために東北大学片平キャンパスの一部(旧東北工業専門学校用地)を取得し、教育・研究環境の改善を図ると共に、これら資源の有効活用を通して経営の

率改善を推進していく必要がある。このような計画の下に、当該土地の取得に向けて第一号基本金を新設し、本年度は計画初年度としての基本金組入れを行った。中学・高等学校部門では移転事業のうち、教室・管理棟、礼拝堂、体育館、部室棟、雨練習場等の建設は順調に進んでいるが、今後行われる外構工事の契約も含めて予算措置を講じた。次に消費収支の概略を説明したい。消費収支の部で最も大きな割合を占める学生・生徒等納付金収入は、幼稚園における納付金の改定、大学に於いては、法科大学院の開設に伴う学生定員の増加、学年進行に伴う自然増(スライド制による)等により前年度補正予算に比し若干の増額を見込んだ。手数料収入は志願者の減少を考慮し、また寄付金収入は現下の社会経済状況を踏まえ減額計上した。補助金収入は国、宮城県の財政状況

により増額交付は見込めないものの、大学における経常費補助金や研究設備等の補助金については多少の回復が見込まれること、また資産運用収入は各部門とも効率的な運用への努力を行っていることを勘案し、それぞれ増額計上した。資産売却差額は中学・高等学校の現在の校地の売却に伴う売却収入と簿価との差額を計上した。消費支出の部で最大の費目は人件費支出であるが、本年度は法科大学院担当教員をはじめ各学部での新規採用により増額となった。教育研究経

平成十六年度の東北学院 大学前期学納付金(二年、三年、四年生)の納入期限は5月14日。お問い合わせは会計課(022-264-64)までお願いします。下旬に保護者宛に郵送します。

工学部で企業説明会開催 三月三日に工学部主催の平成十六年度「企業と学生の就職セミナー」の企業説明会が成り、多賀城キャンパスで開かれ、理工系の企業を中心に五十四社から七十七人の企業担当者が本学を訪れた。昨年は四十七社が参加した。工学部体育館のフロアに設置された各企業のブースには、リクルーターの姿の本学学生延べ千五百人が列をなし、それぞれブースの担当者から企業概要や業務内容などについて説明を聞き入っていた(写真)。

シリース 中・高 サムライ 原稿締切三日前Aが訪ねてきた。「早稲田の一文に合格しました。自分が合格するなんてまだ信じられません」夢見心地で語るAは、本当に自分の合格を信じかねている様子であった。「ついにやったな。予定より早く決めてしまったな。政経学部の発表は土曜日のAとの出合いは、三年前に遡る未人の了解を得ての記述であることを、前もってお断りしておく。三年間学主任として卒業させたのも束の間、今度は担任として三年に残ることになった。残ることには何の不安もないのだが、困ったことに、担任として生徒の情報を全く持つていなくなったのである。しかし、久しぶりの担任で、一年勝負も悪くないなどと思っていた中に、Aはいったのだ。三年時のAは、実にだらしない生徒であり、先生方にさぞかし迷惑をかけた通じだったに違いないという生徒であった。自分の机の周囲には、教科書やノートに体育着・ゴミも散乱するありさま。掃除はサボるし、勉強は勝手気ままな自己流であった。部活は一生懸命だったようだが、それが逆にわざわざチームワークを乱す原因ともなっていたようだ。そんな勝手気ままなAではあったが、どこか憎めない一面を持つており、クラスの雰囲気作りには、結果的に貢献していたのである。当時のクラスは、学院大学の推薦を主とするクラスであったが、彼は違っていた。「早稲田は無理すぎる」一浪した彼は、模擬試験でも上位に顔を出すほど著しい成績の伸びを見せてくれた。その成績を見るたびに、「こいつは、本物になったなと確信するに至った。なぜなら、会うたびに、どんな謙虚になつていく姿が見られるようになったからである。受験直前に、彼ははじめて不安になった。「お前は枕が変わると眠れないだろう」「そうです。わかりますか」「ああ、気にせず自分の枕を持つていけ」なんと彼は、布団袋に家で使っている自分の寝具一式詰めて、ホテルに送ったのだ。青学と中央には合格したが、早稲田の敷居は高かった。結局彼は、一浪を決めた。今度は息子を信じる親があつてこそである。今年も寝具一式をホテルに送って受験に臨み、政経と法は落ちたが、一文と先ほど商にも合格した。「サムライ」は今でもいるのである。

第十二回全国高等学校文化連盟将棋新人大会(会場：広島プリンスホテル)が二月十三日から十五日まで行われ、個人戦において東北学院高校の星宮謙(二年)さんが宮城県大会二位の成績で同大会へ出場。予選を一勝二敗の結果で、惜しくも決勝トーナメントへ進めなかった。